

校長のリーダーシップで変わる 特別支援教育

特別支援教育推進には、気になる子、保護者、
担任との関係づくりが大切！



名城大学 曾山和彦

2018.8.9

気になる子が溶けこむ 小学校授業



□ 1 指示 1 動作 (A小) 2009年、TVにて紹介

学童期は「知識生活時代」。環境さえ整えば、学びが楽しくて仕方ない
段階にある。まさに、そうした子どもたちの姿あり

□ ユニットとルーティン (B小) 私のなかでのベスト1

A男を支える周りの友だちの力は教師一人の支援をはるかに超える

ハンカチのほつれた糸を持ち上げても、糸が切れハンカチは持ち上がらない。
ハンカチ全体を持ち上げれば、糸も上がる (親野「叱らないしつけ」より)

気になる子が溶け込む授業づくりは「ハンカチ理論」で！²

気になる子が溶けこむ 中学校授業



全校で授業スタイルを統一 (C中) * B小も同様

- 1. 目標の提示、学習課題の提示、基礎・基本の確認
- 2. 個人追求 (自分一人で考える・やってみる・活動する時間)
- 3. 「磨き合い」; ペア・グループから全体へつなげていく活動 (仲間とかかわりながら考えを出し合い深め合い、高め合う活動の時間)
- 4. 振り返り (まとめ・定着・確認)

3

溶け込む授業づくりのヒント ～教師の声 & 成果につながったポイント～

< C中教師の声 >

授業スタイルの統一により、生徒が落ち着いて学習に臨むようになった / 授業のはじめに「目標提示」、最後に「振り返り」があり、生徒が目的をもって1時間の授業に臨むようになってきた / グループ学習継続により、授業中の話し合いに慣れてきた / 「磨き合い」の中で、わからないことを気軽に聞いたり、根気よく説明したりする姿が見られるようになってきた 等

< 成果につながったポイント >

- ・ルーティンの導入
- ・視覚情報の活用
- ・ペア・グループ活動の導入

私の大学授業も似ています



D高校、E高校の参観授業もGood！⁴

気になる子が溶けこむ 授業づくりに向けて～体制推進のポイント～

管理職と特別支援教育コーディネーターのタッグ

個別の指導計画作成
(子どもを見る共通の物差し)

各校には
3点が揃っています

定期的な校内委員会の開催



校内特別支援教育推進に向け 今、管理職に必要な力

気になる子 & 保護者 & 担任が安心するには

- 法律、発達障害の基礎知識をもつこと → 今や、知らないでは済まされない
- 相手の話を聴くこと → 口は一つに、耳二つ

6

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- **合理的配慮**不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行
特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために...

「推進」の要は**特別支援教育コーディネーター**・管理職との「**タッグ**」を組んで!

7

ASDへの支援の「王道」

発達障害理解により「合理的配慮」が見えてくる



- 視覚情報の活用 ← フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ ← 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 ← 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 ← 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う



◇ **感覚の過敏性**
(例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
◇ **字義性**
(例) 真っ直ぐ家に帰るのよ → あそこの角を曲がらないと帰れないよう~

「文化に寄り添う」以外は全て**ユニバーサル支援**でもあり

関係づくりのはじめの一步 ~気になる子・保護者・担任と~

関係づくりの第一歩は
相手への関心

・相手の名前
・相手の好きなこと
・相手のいいところ...等々

私たち教育のプロとアマチュアの違いは!



演習:「気になる〇〇君のリソース探し」

関係づくりのお勧め技法! 肯定アイメッセージ&勇気づけ



- 自らゴミを拾ってくれる子にかける言葉は?
- 「子どもは褒めて育てる」...大ウソ!?
→ 「**境**」&「**落とし穴**」

肯定アイメッセージ & 勇気づけ

親業

アドラー心理学

最強・最高・最「幸」な言葉: **ありがとう**

10

保護者の声から 見出す支援のヒント

- 先生は、私の話を否定することなく、いつも真剣に聴いてくださった。それが何よりもうれしかった(自閉症児の母) → **傾聴**
- 構えずに話を聴いてほしい。一緒に考えましようと言ってほしい。そうすれば先生方を信頼できる(アスペルガー児の母) → **エンパティスクリーン**

逆転移に注意!



文溪堂「hito*yume」2013年Vol. 15に支援のヒントが満載!

11

話を聴く管理職であること

自分の「聴き方」をロールプレイでチェック!

なぜ、ロールプレイなのか? (ロールプレイの意義)

ロールプレイは「道場の竹刀稽古」。本番で斬らない、斬られないために稽古を積む(河合)

12

基礎・基本はやはり「傾聴」

傾聴＝耳＋目＋心で「聴く」

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか（言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか）
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング（波長合わせ）ができたか

13

傾聴の意義と基本技法

- クライエントの言葉を鏡になって返すことにより、クライエント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライエントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

基本5技法

14

保護者・担任との関係づくりの「王道」ステップ



- First step; **を尊重する**
↑ 相手の価値観等
- Second step; **は相手に返す**
↑ 子どもの変化等

「洋服」の第1ボタンをはめれば、次のボタンはスムーズにはめることができます

15

元気をなくしている相手に使いたい！サバイバル・クエスチョン

私は子育てができないダメな親です

大変な中で、よく頑張ってきましたね
支えになったことは何ですか？

これがリソース（資源）



16

元気をなくしている相手に伝えたい！例外探し

うまくやれていること（例外）はきっとある

「うざい！」と言う
暴言が「問題」

「先生、あのね」と言う
丁寧語が「例外」

なぜ、「例外」が生まれた？
（例外の責任追及）

- ・「ごはんの前と一緒に遊んだから」
 - ・「ゆっくりと話を聴いたから」
- 支援のヒントがここにある

私たちは「問題」が100%のように思いがち

17

「禁句」を使いがちな相手に伝えたい！リフレーミングによる言葉かけ



1時間かけて宿題が半分終わった
子どもを見て・・

< 禁句 >

（年齢に応じて）

「見方」を変えて、子どもの「」になる！

18

おわりに

～校内特別支援教育体制の推進に向けて～

- 一つだけでは多すぎる(外山)
- 学び続けることは教師の「職業倫理」
- 今、見ている景色も楽しむ

また、お会いしましょう！



19

ご縁をご活用ください！

～Mail; kazu3623@hotmail.com～

- 実践上の悩みがあればメールを！
- HP;「KAZU・和・POCKET」に情報満載！
- Blog;「Today's pocket」は毎日更新！

また、お会いしましょう！



20

拙著紹介

「オニの心」シリーズ(明治図書)



私の初単著！ 思い出の著作です！



「オニの心」は私のお気に入りのタイトル

21

拙著紹介

「気になる子」シリーズ(教育開発研究所)



全国各地の「仲間」と創り上げた本です！



優しい色合いの表紙も私のお気に入り

22

拙著紹介

「王道」シリーズ(文溪堂)



私の似顔絵カットは「ねこまき」さん
私の実践・研究の現在地をまとめました！



「王道＝正攻法の基本型」の教育を目指して

23

拙著紹介

親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉(文溪堂)



「先生方の応援者」であることに加え、「保護者の応援者」にもなりたくて書き上げた本です！

このタイトルで多くのPTA講演もお受けしています！



私の応援メッセージが届きますように

24